

資料編（病院別集計結果）

1.1. A病院

1.1.1. 一次計上：

医業収益についてみると、入院部門は施設全体の医業収益のうち4割弱、外来部門が2割強、中央診療部門において4割の内訳となっていた。

一方、医業費用が施設全体の医業収益に占める割合をみると、入院部門は3割、外来部門は3割弱、中央診療部門は3割強、補助・管理部門は1割であった。

1.1.2. 二次配賦：

二次配賦段階における収支差額について、施設全体の医業収益に占める割合を見ると、入院部門は6%程度の黒字、外来部門においては3%程度の赤字、中央診療部門は8%程度の黒字であった。

1.1.3. 三次配賦：

入院部門は、施設全体の医業収益の5割強、外来部門が5割弱を占めた。

一方、医業費用について施設全体の医業収益に占める割合をみると入院部門、外来部門ともに5割であった。これらの配賦の結果、収支差額について施設全体の医業収益に占める割合でみると、入院部門は1割弱の黒字、外来部門は2%程度の黒字であった。

図表 資料編-1 A病院の階梯式配賦による病院別原価計算結果

(上段：施設全体医業収益額を100とした場合の各項目の占める割合)

(下段：項目別部門合計を100とした場合の各部門の占める割合)

【一次計上】

	一次計上				合計
	入院部門	外来部門	中央診療部門	補助・管理部門	
医業収益	35.4 (35.4)	24.3 (24.3)	40.3 (40.3)	—	100.0 (100.0)
医業費用	26.4 (29.7)	22.4 (25.2)	30.5 (34.2)	9.7 (10.9)	89.0 (100.0)
給与費	14.7 (32.0)	13.5 (29.5)	11.8 (25.7)	5.8 (12.7)	45.9 (100.0)
材料費	4.8 (25.7)	4.9 (26.2)	9.0 (48.1)	—	18.7 (100.0)
経費	2.6 (17.5)	2.0 (13.5)	7.3 (48.8)	3.0 (20.2)	15.0 (100.0)
減価償却費	4.3 (45.6)	1.9 (20.4)	2.3 (24.8)	0.8 (9.2)	9.5 (100.0)
本部費	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—
収支差額	9.0 (81.9)	1.9 (17.0)	9.9 (89.9)	-9.7 (-88.8)	11.0 (100.0)

【二次配賦】

	二次配賦			合計
	入院部門	外来部門	中央診療部門	
医業収益	35.4 (35.4)	24.3 (24.3)	40.3 (40.3)	100.0 (100.0)
医業費用	29.3 (32.9)	27.7 (31.1)	32.0 (35.9)	89.0 (100.0)
給与費	16.2 (35.4)	17.0 (37.0)	12.7 (27.7)	45.9 (100.0)
材料費	4.8 (25.7)	4.9 (26.2)	9.0 (48.1)	18.7 (100.0)
経費	3.8 (25.5)	3.2 (21.4)	7.9 (53.1)	15.0 (100.0)
減価償却費	4.5 (47.2)	2.6 (28.0)	2.3 (24.8)	9.5 (100.0)
本部費	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—
収支差額	6.1 (55.7)	-3.5 (-31.5)	8.3 (75.8)	11.0 (100.0)

【三次配賦】

	三次配賦					
	入院部門					
	内科	外科	整形外科	眼科	リハビリテーション科	入院計
医業収益	29.8 (29.8)	10.9 (10.9)	8.5 (8.5)	1.1 (1.1)	3.4 (3.4)	53.8 (53.8)
医業費用	26.4 (29.6)	9.3 (10.5)	7.7 (8.6)	0.7 (0.8)	1.0 (1.1)	45.0 (50.6)
給与費	13.4 (29.2)	4.6 (10.0)	3.8 (8.2)	0.4 (0.9)	0.3 (0.7)	22.5 (48.9)
材料費	5.8 (31.0)	2.5 (13.4)	2.4 (12.8)	0.1 (0.6)	0.6 (3.3)	11.5 (61.2)
経費	4.1 (27.7)	1.2 (8.1)	0.8 (5.1)	0.1 (0.6)	0.0 (0.2)	6.2 (41.6)
減価償却費	3.0 (31.8)	1.0 (10.9)	0.8 (8.0)	0.1 (0.9)	—	4.9 (51.6)
本部費	—	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—	—
収支差額	3.5 (31.6)	1.6 (14.6)	0.8 (7.4)	0.4 (3.7)	2.4 (22.3)	8.7 (79.6)

	三次配賦							合計
	外来部門							
	内科	外科	整形外科	眼科	耳鼻いんこう科	リハビリテーション科	外来計	
医業収益	28.7 (28.7)	2.5 (2.5)	5.9 (5.9)	4.7 (4.7)	2.1 (2.1)	2.3 (2.3)	46.2 (46.2)	100.0 (100.0)
医業費用	22.0 (24.7)	3.7 (4.2)	7.8 (8.7)	5.0 (5.7)	1.3 (1.5)	4.2 (4.7)	44.0 (49.4)	89.0 (100.0)
給与費	13.2 (28.7)	1.7 (3.8)	3.2 (6.9)	3.2 (6.9)	0.5 (1.2)	1.6 (3.6)	23.5 (51.1)	45.9 (100.0)
材料費	2.3 (12.2)	1.2 (6.6)	2.7 (14.3)	0.7 (3.5)	0.3 (1.3)	0.1 (0.8)	7.3 (38.8)	18.7 (100.0)
経費	4.9 (32.5)	0.4 (2.9)	1.2 (8.1)	0.8 (5.0)	0.3 (2.1)	1.1 (7.7)	8.7 (58.4)	15.0 (100.0)
減価償却費	1.6 (17.1)	0.3 (3.3)	0.7 (7.3)	0.5 (5.2)	0.2 (2.4)	1.2 (13.2)	4.6 (48.4)	9.5 (100.0)
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—
収支差額	6.8 (61.6)	-1.2 (-11.0)	-1.9 (-17.1)	-0.4 (-3.5)	0.8 (7.1)	-1.8 (-16.7)	2.2 (20.4)	11.0 (100.0)

1.2. B病院

1.2.1. 一次計上：

医業収益についてみると、入院部門は施設全体の医業収益のうち4割弱、外来部門が2割弱、中央診療部門において5割弱の内訳となっていた。

一方、医業費用が施設全体の医業収益に占める割合をみると、入院部門は3割強、外来部門は2割弱、中央診療部門は3割、補助・管理部門は2割弱であった。

1.2.2. 二次配賦：

二次配賦段階における収支差額について、施設全体の医業収益に占める割合を見ると、入院部門は4%程度の赤字、外来部門においては1割弱の赤字、中央診療部門は1割強の黒字であった。

1.2.3. 三次配賦：

入院部門は、施設全体の医業収益の5割強、外来部門が5割弱を占めた。

一方、医業費用について施設全体の医業収益に占める割合をみると入院部門は5割強、外来部門が5割弱であった。これらの配賦の結果、収支差額について施設全体の医業収益に占める割合でみると、入院部門は1%程度の黒字、外来部門は1%程度の赤字であった。

図表 資料編-2 B病院の階梯式配賦による病院別原価計算結果

(上段：施設全体医業収益額を100とした場合の各項目の占める割合)
 (下段：項目別部門合計を100とした場合の各部門の占める割合)

【一次計上】

	一次計上				合計
	入院部門	外来部門	中央診療部門	補助・管理部門	
医業収益	35.8 (35.8)	17.9 (17.9)	46.3 (46.3)	—	100.0 (100.0)
医業費用	34.5 (34.4)	16.6 (16.5)	31.5 (31.4)	17.8 (17.8)	100.3 (100.0)
給与費	23.9 (37.7)	11.9 (18.7)	14.5 (22.9)	13.2 (20.8)	63.4 (100.0)
材料費	1.4 (16.0)	1.4 (16.4)	5.8 (67.7)	—	8.5 (100.0)
経費	5.6 (27.6)	1.9 (9.3)	9.0 (44.2)	3.9 (19.0)	20.3 (100.0)
減価償却費	3.6 (45.0)	1.4 (17.6)	2.2 (27.8)	0.8 (9.6)	8.1 (100.0)
本部費	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—
収支差額	1.3 (-392.0)	1.3 (-392.9)	14.8 (-4354.5)	-17.8 (5239.4)	-0.3 (100.0)

【二次配賦】

	二次配賦				合計
	入院部門	外来部門	中央診療部門	合計	
医業収益	35.8 (35.8)	17.9 (17.9)	46.3 (46.3)	—	100.0 (100.0)
医業費用	39.6 (39.4)	26.1 (26.0)	34.7 (34.5)	—	100.3 (100.0)
給与費	27.8 (43.9)	18.6 (29.3)	17.1 (26.9)	—	63.4 (100.0)
材料費	1.4 (16.0)	1.4 (16.4)	5.8 (67.7)	—	8.5 (100.0)
経費	6.6 (32.6)	4.1 (20.2)	9.6 (47.2)	—	20.3 (100.0)
減価償却費	3.8 (47.0)	2.0 (25.2)	2.2 (27.8)	—	8.1 (100.0)
本部費	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—
収支差額	-3.8 (1107.2)	-8.2 (2412.0)	11.6 (-3419.2)	—	-0.3 (100.0)

【三次配賦】

	三次配賦											入院計
	入院部門											
	内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう科	リハビリテーション科	入院計	
医業収益	18.7 (18.7)	1.1 (1.1)	12.9 (12.9)	11.4 (11.4)	0.6 (0.6)	1.1 (1.1)	1.3 (1.3)	1.1 (1.1)	0.3 (0.3)	5.9 (5.9)	54.4 (54.4)	
医業費用	12.3 (12.2)	0.7 (0.7)	10.9 (10.9)	13.2 (13.1)	0.7 (0.7)	1.5 (1.5)	6.9 (6.9)	0.9 (0.9)	0.5 (0.5)	6.2 (6.2)	53.8 (53.7)	
給与費	8.3 (13.0)	0.4 (0.7)	7.8 (12.3)	8.9 (14.1)	0.5 (0.8)	1.1 (1.7)	3.4 (5.3)	0.6 (1.0)	0.3 (0.5)	4.2 (6.6)	35.5 (56.0)	
材料費	0.9 (10.5)	0.0 (0.2)	0.9 (10.5)	1.0 (12.2)	0.0 (0.3)	0.0 (0.4)	0.0 (0.4)	0.1 (0.9)	0.0 (0.1)	0.2 (2.3)	3.2 (38.0)	
経費	2.6 (12.6)	0.2 (0.9)	1.7 (8.4)	2.5 (12.4)	0.1 (0.7)	0.3 (1.7)	1.7 (8.1)	0.2 (0.8)	0.1 (0.6)	1.5 (7.2)	10.8 (53.3)	
減価償却費	0.6 (7.0)	0.1 (1.1)	0.5 (6.1)	0.7 (8.6)	0.0 (0.4)	0.1 (1.3)	1.8 (22.8)	0.0 (0.5)	0.0 (0.4)	0.4 (4.4)	4.2 (52.6)	
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
収支差額	6.5 (-1901.1)	0.4 (-112.1)	2.0 (-596.8)	-1.8 (533.4)	-0.1 (29.6)	-0.5 (138.1)	-5.6 (1650.5)	0.2 (-64.9)	-0.2 (55.8)	-0.3 (101.9)	0.6 (-165.5)	

【三次配賦】

	三次配賦												合計
	外来部門												
	内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう科	放射線科	リハビリテーション科	外来計
医業収益	31.7 (31.7)	1.1 (1.1)	3.6 (3.6)	2.8 (2.8)	1.0 (1.0)	0.2 (0.2)	1.6 (1.6)	0.6 (0.6)	2.9 (2.9)	—	0.2 (0.2)	0.0 (0.0)	45.6 (45.6)
医業費用	21.6 (21.5)	1.7 (1.7)	4.2 (4.2)	7.6 (7.6)	1.4 (1.3)	0.4 (0.4)	2.2 (2.2)	3.2 (3.2)	3.0 (3.0)	0.2 (0.2)	0.7 (0.7)	0.3 (0.3)	46.5 (46.3)
給与費	12.7 (20.0)	1.1 (1.7)	2.5 (4.0)	5.0 (7.9)	0.9 (1.3)	0.3 (0.4)	1.2 (1.9)	2.1 (3.3)	1.9 (3.0)	0.1 (0.2)	0.1 (0.2)	0.1 (0.1)	27.9 (44.0)
材料費	3.9 (45.3)	0.0 (0.2)	0.6 (7.1)	0.3 (4.0)	0.1 (0.6)	0.0 (0.0)	0.3 (3.3)	0.0 (0.4)	0.1 (0.8)	—	—	—	5.3 (62.0)
経費	3.8 (18.7)	0.4 (2.1)	0.9 (4.2)	1.7 (8.2)	0.3 (1.6)	0.1 (0.6)	0.5 (2.6)	0.7 (3.6)	0.7 (3.6)	0.0 (0.1)	0.2 (1.1)	0.1 (0.4)	9.5 (46.7)
減価償却費	1.3 (15.6)	0.2 (2.0)	0.2 (3.0)	0.6 (7.5)	0.1 (1.6)	0.0 (0.6)	0.2 (1.9)	0.4 (4.4)	0.3 (4.1)	0.0 (0.5)	0.3 (4.3)	0.2 (1.9)	3.8 (47.4)
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
収支差額	10.1 (-2979.3)	-0.6 (177.7)	-0.7 (198.4)	-4.9 (1432.5)	-0.4 (109.8)	-0.2 (71.1)	-0.6 (184.8)	-2.6 (766.0)	-0.1 (14.7)	-0.2 (46.5)	-0.5 (153.9)	-0.3 (89.4)	-0.9 (265.5)

1.3. C病院

1.3.1. 一次計上：

医業収益についてみると、入院部門は施設全体の医業収益のうち4割、外来部門が1割、中央診療部門において5割弱の内訳となっていた。

一方、医業費用が施設全体の医業収益に占める割合をみると、入院部門は4割弱、外来部門は2割弱、中央診療部門は3割強、補助・管理部門は1割であった。

1.3.2. 二次配賦：

二次配賦段階における収支差額について、施設全体の医業収益に占める割合を見ると、入院部門は4%程度の赤字、外来部門においては1割程度の赤字、中央診療部門は1割程度の黒字であった。

1.3.3. 三次配賦：

入院部門は、施設全体の医業収益の7割弱、外来部門が3割強を占めた。

一方、医業費用について施設全体の医業収益に占める割合をみると入院部門は6割強、外来部門が4割弱であった。これらの配賦の結果、収支差額について施設全体の医業収益に占める割合でみると、入院部門は3%程度の黒字、外来部門は8%程度の赤字であった。

図表 資料編-3 C病院の階梯式配賦による病院別原価計算結果

(上段：施設全体医業収益額を100とした場合の各項目の占める割合)

(下段：項目別部門合計を100とした場合の各部門の占める割合)

【一次計上】

	一次計上				合計
	入院部門	外来部門	中央診療部門	補助・管理部門	
医業収益	41.3 (41.3)	10.9 (10.9)	47.8 (47.8)	—	100.0 (100.0)
医業費用	40.7 (38.9)	17.0 (16.3)	35.2 (33.7)	11.6 (11.1)	104.5 (100.0)
給与費	21.3 (37.9)	11.1 (19.8)	16.4 (29.2)	7.4 (13.1)	56.2 (100.0)
材料費	10.2 (45.8)	2.6 (11.8)	9.4 (42.4)	—	22.2 (100.0)
経費	6.1 (34.1)	2.5 (13.8)	5.2 (29.0)	4.1 (23.1)	17.9 (100.0)
減価償却費	3.1 (37.7)	0.8 (9.6)	4.2 (51.2)	0.1 (1.6)	8.2 (100.0)
本部費	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—
収支差額	0.7 (-15.3)	-6.1 (135.8)	12.6 (-277.5)	-11.6 (256.9)	-4.5 (100.0)

【二次配賦】

	二次配賦			合計
	入院部門	外来部門	中央診療部門	
医業収益	41.3 (41.3)	10.9 (10.9)	47.8 (47.8)	100.0 (100.0)
医業費用	45.4 (43.4)	21.8 (20.8)	37.4 (35.8)	104.5 (100.0)
給与費	24.3 (43.2)	14.0 (25.0)	17.9 (31.9)	56.2 (100.0)
材料費	10.2 (45.8)	2.6 (11.8)	9.4 (42.4)	22.2 (100.0)
経費	7.8 (43.6)	4.2 (23.6)	5.9 (32.8)	17.9 (100.0)
減価償却費	3.1 (38.3)	0.9 (10.6)	4.2 (51.2)	8.2 (100.0)
本部費	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—
収支差額	-4.0 (88.9)	-10.9 (241.0)	10.4 (-229.9)	-4.5 (100.0)

【三次配賦】

	三次配賦 入院部門							入院計
	内科	外科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	眼科	耳鼻いんこう科	
医業収益	31.3 (31.3)	10.8 (10.6)	10.0 (10.0)	8.3 (8.3)	4.1 (4.1)	2.5 (2.5)	1.4 (1.4)	68.1 (88.1)
医業費用	26.8 (25.7)	10.0 (9.6)	11.7 (11.2)	9.5 (9.1)	3.7 (3.6)	2.2 (2.1)	1.1 (1.0)	65.0 (62.2)
給与費	14.0 (25.0)	5.6 (10.0)	6.5 (11.5)	4.7 (8.3)	2.3 (4.1)	1.4 (2.6)	0.7 (1.2)	35.2 (62.6)
材料費	5.8 (26.2)	2.3 (10.5)	3.0 (13.6)	3.0 (13.5)	0.6 (2.7)	0.3 (1.5)	0.2 (0.8)	15.3 (68.7)
経費	4.7 (26.5)	1.4 (7.6)	1.5 (8.3)	1.3 (7.1)	0.6 (3.1)	0.3 (1.6)	0.2 (1.0)	9.9 (55.2)
減価償却費	2.2 (27.2)	0.7 (8.3)	0.7 (8.4)	0.6 (7.0)	0.2 (3.0)	0.1 (1.6)	0.1 (1.0)	4.6 (56.6)
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—
収支差額	4.5 (-98.5)	0.6 (-13.3)	-1.6 (36.4)	-1.2 (26.5)	0.4 (-7.8)	0.3 (-7.7)	0.3 (-5.6)	3.2 (-69.9)

	三次配賦 外来部門										合計	
	内科	精神科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻いんこう科		外来計
医業収益	16.8 (16.8)	0.3 (0.3)	3.8 (3.8)	2.6 (2.6)	1.5 (1.5)	0.2 (0.2)	2.3 (2.3)	0.2 (0.2)	2.9 (2.9)	1.3 (1.3)	31.9 (31.9)	100.0 (100.0)
医業費用	16.4 (15.7)	0.1 (0.1)	4.1 (3.9)	6.7 (6.4)	1.7 (1.7)	0.5 (0.5)	2.7 (2.5)	0.6 (0.5)	4.2 (4.0)	2.6 (2.5)	39.5 (37.8)	104.5 (100.0)
給与費	8.6 (15.2)	0.0 (0.1)	2.1 (3.8)	3.6 (6.5)	1.0 (1.8)	0.3 (0.5)	1.3 (2.3)	0.4 (0.7)	2.6 (4.5)	1.1 (2.0)	21.0 (37.4)	56.2 (100.0)
材料費	3.6 (16.3)	0.1 (0.2)	0.9 (4.1)	0.9 (3.9)	0.2 (0.9)	0.0 (0.2)	0.7 (3.2)	0.0 (0.1)	0.4 (1.6)	0.2 (0.9)	6.9 (31.3)	22.2 (100.0)
経費	3.0 (16.5)	0.0 (0.0)	0.7 (4.1)	1.5 (8.3)	0.4 (2.0)	0.1 (0.8)	0.5 (2.6)	0.1 (0.7)	0.9 (4.9)	0.8 (4.7)	8.0 (44.8)	17.9 (100.0)
減価償却費	1.2 (15.2)	0.0 (0.1)	0.3 (4.2)	0.7 (8.5)	0.2 (2.0)	0.1 (0.8)	0.2 (2.4)	0.0 (0.6)	0.4 (5.1)	0.4 (4.6)	3.6 (43.4)	8.2 (100.0)
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
収支差額	0.4 (-8.0)	0.2 (-4.1)	-0.3 (7.6)	-4.1 (90.2)	-0.3 (6.1)	-0.3 (6.6)	-0.3 (7.2)	-0.4 (7.8)	-1.3 (28.8)	-1.3 (27.7)	-7.7 (169.9)	-4.5 (100.0)

1.4. D病院

1.4.1. 一次計上：

医業収益についてみると、入院部門は施設全体の医業収益のうち4割強、外来部門が1割、中央診療部門において5割弱の内訳となっていた。

一方、医業費用が施設全体の医業収益に占める割合をみると、入院部門は4割弱、外来部門は2割強、中央診療部門は3割強、補助・管理部門は1割であった。

1.4.2. 二次配賦：

二次配賦段階における収支差額について、施設全体の医業収益に占める割合を見ると、入院部門は1%弱の黒字、外来部門においては1割程度の赤字、中央診療部門は1割程度の黒字であった。

1.4.3. 三次配賦：

入院部門は、施設全体の医業収益の7割弱、外来部門が3割強を占めた。

一方、医業費用について施設全体の医業収益に占める割合をみると入院部門は6割、外来部門が4割であった。これらの配賦の結果、収支差額について施設全体の医業収益に占める割合でみると、入院部門は5%程度の黒字、外来部門は5%程度の赤字であった。

図表 資料編-4 D病院の階梯式配賦による病院別原価計算結果

(上段：施設全体医業収益額を100とした場合の各項目の占める割合)

(下段：項目別部門合計を100とした場合の各部門の占める割合)

〔一次計上〕

	一次計上				合計
	入院部門	外来部門	中央診療部門	補助・管理部門	
医業収益	42.6 (42.6)	12.0 (12.0)	45.5 (45.5)	—	100.0 (100.0)
医業費用	37.6 (37.8)	18.3 (18.4)	32.9 (33.0)	10.8 (10.8)	99.6 (100.0)
給与費	21.5 (42.6)	10.9 (21.5)	12.0 (23.8)	6.1 (12.0)	50.6 (100.0)
材料費	7.0 (29.3)	4.7 (19.9)	12.1 (50.8)	—	23.8 (100.0)
経費	6.4 (30.7)	2.3 (11.1)	7.6 (36.7)	4.5 (21.5)	20.8 (100.0)
減価償却費	2.7 (61.4)	0.4 (8.5)	1.1 (24.8)	0.2 (5.3)	4.4 (100.0)
本部費	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—
収支差額	5.0 (1202.0)	-6.4 (-1538.6)	12.6 (3045.8)	-10.8 (-2609.2)	0.4 (100.0)

〔二次配賦〕

	二次配賦				合計
	入院部門	外来部門	中央診療部門	合計	
医業収益	42.6 (42.6)	12.0 (12.0)	45.5 (45.5)	—	100.0 (100.0)
医業費用	42.1 (42.3)	22.5 (22.6)	34.9 (35.1)	99.6 (100.0)	99.6 (100.0)
給与費	23.8 (47.0)	13.6 (27.0)	13.2 (26.0)	50.6 (100.0)	50.6 (100.0)
材料費	7.0 (29.3)	4.7 (19.9)	12.1 (50.8)	23.8 (100.0)	23.8 (100.0)
経費	8.6 (41.8)	3.6 (17.3)	8.5 (41.1)	20.8 (100.0)	20.8 (100.0)
減価償却費	2.8 (62.7)	0.5 (12.5)	1.1 (24.8)	4.4 (100.0)	4.4 (100.0)
本部費	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—
収支差額	0.4 (104.0)	-10.6 (-2556.3)	10.5 (2552.3)	0.4 (100.0)	0.4 (100.0)

〔三次配賦〕

	三次配賦												入院計
	入院部門												
	内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	整形外科	形成外科	脳神経外科	泌尿器科	婦人科	眼科	入院計	
医業収益	1.5 (1.5)	4.3 (4.3)	21.6 (21.6)	5.3 (5.3)	0.0 (0.0)	10.9 (10.9)	1.6 (1.6)	15.3 (15.3)	3.4 (3.4)	1.2 (1.2)	0.5 (0.5)	65.4 (65.4)	
医業費用	1.1 (1.1)	6.9 (6.9)	14.4 (14.5)	9.6 (9.6)	0.0 (0.0)	9.6 (9.6)	1.2 (1.2)	14.0 (14.0)	3.0 (3.1)	0.8 (0.8)	0.3 (0.3)	60.8 (61.0)	
給与費	0.6 (1.3)	4.1 (8.1)	7.3 (14.5)	3.4 (6.8)	0.0 (0.0)	4.6 (9.0)	0.8 (1.5)	6.1 (12.1)	1.7 (3.4)	0.5 (0.9)	0.2 (0.4)	29.3 (58.0)	
材料費	0.1 (0.5)	0.3 (1.4)	3.6 (15.2)	4.4 (18.4)	0.0 (0.0)	2.4 (10.1)	0.1 (0.3)	4.1 (17.3)	0.4 (1.7)	0.1 (0.5)	0.0 (0.2)	15.6 (65.6)	
経費	0.3 (1.3)	1.9 (9.1)	3.0 (14.3)	1.4 (6.8)	0.0 (0.0)	2.1 (9.9)	0.3 (1.3)	3.0 (14.3)	0.7 (3.5)	0.2 (0.9)	0.0 (0.1)	12.8 (61.5)	
減価償却費	0.1 (1.8)	0.5 (12.2)	0.5 (10.7)	0.4 (8.3)	0.0 (0.1)	0.5 (12.3)	0.1 (1.7)	0.7 (16.9)	0.2 (4.6)	0.0 (0.3)	0.0 (0.1)	3.0 (69.0)	
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
収支差額	0.3 (84.2)	-2.6 (-625.4)	7.2 (1739.9)	-4.3 (-1037.4)	-0.0 (-7.2)	1.3 (324.1)	0.4 (103.2)	1.3 (314.4)	0.3 (76.0)	0.4 (96.6)	0.2 (47.4)	4.6 (1115.7)	

	三次配賦															合計
	外来部門															
	内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻いんご科	リハビリテーション科	外来計	
医業収益	4.4 (4.4)	1.2 (1.2)	9.4 (9.4)	1.7 (1.7)	0.1 (0.1)	4.7 (4.7)	3.0 (3.0)	1.8 (1.8)	1.9 (1.9)	2.4 (2.4)	0.9 (0.9)	1.6 (1.6)	1.2 (1.2)	0.1 (0.1)	34.8 (34.8)	
医業費用	4.5 (4.5)	1.2 (1.2)	8.1 (8.1)	2.2 (2.2)	0.1 (0.1)	2.7 (2.7)	4.4 (4.5)	4.5 (4.5)	2.1 (2.1)	3.1 (3.1)	1.4 (1.4)	2.4 (2.4)	1.8 (1.8)	0.4 (0.4)	38.8 (39.0)	
給与費	2.7 (5.4)	0.7 (1.4)	3.6 (7.1)	1.3 (2.6)	0.0 (0.1)	1.3 (2.6)	2.4 (4.8)	2.9 (5.8)	1.4 (2.8)	1.5 (3.0)	0.7 (1.5)	1.3 (2.6)	1.1 (2.1)	0.2 (0.4)	21.3 (42.0)	
材料費	0.8 (3.4)	0.2 (0.7)	2.6 (10.8)	0.1 (0.3)	0.0 (0.0)	1.0 (4.2)	0.8 (3.3)	0.8 (3.5)	0.1 (0.2)	0.8 (3.3)	0.4 (1.7)	0.5 (2.0)	0.2 (0.9)	—	8.2 (34.4)	
経費	0.8 (4.0)	0.3 (1.4)	1.7 (8.1)	0.7 (3.4)	0.0 (0.2)	0.3 (1.6)	1.0 (4.8)	0.6 (3.1)	0.5 (2.5)	0.6 (3.1)	0.2 (1.2)	0.5 (2.4)	0.4 (1.9)	0.2 (0.8)	8.0 (38.5)	
減価償却費	0.1 (3.2)	0.1 (1.3)	0.2 (5.8)	0.1 (2.9)	0.0 (0.1)	0.0 (0.7)	0.2 (4.4)	0.1 (2.5)	0.1 (2.2)	0.1 (2.4)	0.0 (1.0)	0.1 (2.2)	0.1 (1.8)	0.0 (0.8)	1.4 (31.0)	
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
収支差額	-0.1 (-33.6)	-0.0 (-2.5)	1.3 (326.6)	-0.5 (-115.7)	0.1 (15.6)	2.0 (487.0)	-1.5 (-356.5)	-2.7 (-649.5)	-0.1 (-32.5)	-0.6 (-151.3)	-0.6 (-135.2)	-0.7 (-175.5)	-0.5 (-129.7)	-0.3 (-62.8)	-4.2 (-1015.7)	

1.5. E病院

1.5.1. 一次計上：

医業収益についてみると、入院部門は施設全体の医業収益のうち5割弱、外来部門が1割、中央診療部門において4割強の内訳となっていた。

一方、医業費用が施設全体の医業収益に占める割合をみると、入院部門は4割弱、外来部門は2割弱、中央診療部門は3割強、補助・管理部門は1割であった。

1.5.2. 二次配賦：

二次配賦段階における収支差額について、施設全体の医業収益に占める割合を見ると、入院部門は5%の黒字、外来部門においては1割強の赤字、中央診療部門は9%の黒字であった。

1.5.3. 三次配賦：

入院部門は、施設全体の医業収益の8割弱、外来部門が2割弱を占めた。

一方、医業費用について施設全体の医業収益に占める割合をみると入院部門は7割弱、外来部門が3割強であった。これらの配賦の結果、収支差額について施設全体の医業収益に占める割合でみると、入院部門は1割の黒字、外来部門は1割程度の赤字であった。

図表 資料編-5 E病院の階梯式配賦による病院別原価計算結果

(上段：施設全体医業収益額を100とした場合の各項目の占める割合)

(下段：項目別部門合計を100とした場合の各部門の占める割合)

【一次計上】

	一次計上				合計
	入院部門	外来部門	中央診療部門	補助・管理部門	
医業収益	48.5 (48.5)	9.1 (9.1)	42.4 (42.4)	—	100.0 (100.0)
医業費用	37.4 (38.2)	17.7 (18.0)	31.5 (32.1)	11.4 (11.6)	97.9 (100.0)
給与費	21.8 (46.1)	8.0 (16.8)	11.8 (25.1)	5.7 (12.0)	47.2 (100.0)
材料費	6.9 (25.4)	7.8 (28.7)	12.5 (45.9)	—	27.2 (100.0)
経費	8.6 (38.6)	1.6 (9.4)	6.1 (35.5)	2.8 (16.5)	17.1 (100.0)
減価償却費	2.1 (57.8)	0.3 (7.9)	1.1 (29.5)	0.2 (4.8)	3.7 (100.0)
本部費	—	—	—	2.7 (100.0)	2.7 (100.0)
役員報酬	—	—	—	—	—
収支差額	11.1 (533.4)	-8.6 (-413.9)	11.0 (529.8)	-11.4 (-549.3)	2.1 (100.0)

【二次配賦】

	二次配賦				合計
	入院部門	外来部門	中央診療部門	合計	
医業収益	48.5 (48.5)	9.1 (9.1)	42.4 (42.4)	—	100.0 (100.0)
医業費用	43.5 (44.4)	21.0 (21.4)	33.5 (34.2)	—	97.9 (100.0)
給与費	24.6 (52.1)	10.0 (21.1)	12.6 (26.8)	—	47.2 (100.0)
材料費	6.9 (25.4)	7.8 (28.7)	12.5 (45.9)	—	27.2 (100.0)
経費	8.0 (47.1)	2.5 (14.8)	6.5 (38.1)	—	17.1 (100.0)
減価償却費	2.2 (59.6)	0.4 (10.9)	1.1 (29.5)	—	3.7 (100.0)
本部費	1.7 (62.4)	0.3 (10.9)	0.7 (28.7)	—	2.7 (100.0)
役員報酬	—	—	—	—	—
収支差額	5.0 (240.8)	-11.9 (-574.1)	9.0 (433.3)	—	2.1 (100.0)

【三次配賦】

	三次配賦								
	入院部門								
	内科	神経内科	外科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	婦人科	耳鼻いんこう科	入院計
医業収益	23.8 (23.8)	5.2 (5.2)	21.7 (21.7)	13.2 (13.2)	7.0 (7.0)	4.9 (4.9)	0.1 (0.1)	0.5 (0.5)	76.4 (76.4)
医業費用	20.6 (21.1)	4.5 (4.6)	16.6 (16.9)	12.6 (12.9)	7.0 (7.1)	3.9 (4.0)	0.0 (0.0)	0.3 (0.3)	65.5 (66.9)
給与費	8.7 (18.5)	2.4 (5.1)	8.8 (18.7)	6.5 (13.8)	4.2 (8.9)	2.2 (4.6)	0.0 (0.0)	0.2 (0.3)	33.1 (70.0)
材料費	6.8 (25.0)	0.8 (2.9)	3.6 (13.2)	3.4 (12.3)	0.6 (2.4)	0.6 (2.4)	0.0 (0.1)	0.0 (0.1)	15.9 (58.4)
経費	3.7 (21.7)	1.0 (5.6)	3.0 (17.6)	2.0 (11.5)	1.5 (9.1)	0.8 (4.4)	0.0 (0.0)	0.0 (0.3)	12.0 (70.2)
減価償却費	0.8 (21.3)	0.2 (5.2)	0.7 (18.6)	0.5 (12.4)	0.3 (7.8)	0.2 (5.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.3)	2.6 (70.7)
本部費	0.6 (21.4)	0.2 (6.0)	0.5 (17.7)	0.3 (11.4)	0.3 (11.0)	0.1 (4.7)	0.0 (0.0)	0.0 (0.3)	2.0 (72.5)
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—	—
収支差額	3.2 (155.0)	0.6 (31.2)	5.1 (247.6)	0.6 (27.1)	0.0 (1.9)	1.0 (50.0)	0.0 (1.2)	0.2 (10.0)	10.9 (524.0)

	三次配賦												合計
	外来部門											合計	
	内科	神経内科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	耳鼻いんこう科		外来計
医業収益	6.6 (6.6)	0.1 (0.1)	0.5 (0.5)	6.8 (6.8)	2.5 (2.5)	0.1 (0.1)	0.9 (0.9)	0.5 (0.5)	4.2 (4.2)	0.3 (0.3)	1.2 (1.2)	23.6 (23.6)	100.0 (100.0)
医業費用	6.2 (6.4)	0.1 (0.1)	1.0 (1.0)	7.3 (7.5)	4.3 (4.4)	0.2 (0.2)	5.1 (5.2)	1.0 (1.1)	4.3 (4.4)	0.7 (0.7)	2.2 (2.2)	32.4 (33.1)	97.9 (100.0)
給与費	3.1 (6.6)	0.1 (0.2)	0.5 (1.1)	2.9 (6.2)	2.4 (5.2)	0.1 (0.3)	0.9 (1.9)	0.6 (1.3)	1.8 (3.4)	0.5 (1.0)	1.4 (2.9)	14.2 (30.0)	47.2 (100.0)
材料費	1.5 (5.4)	0.0 (0.0)	0.2 (0.8)	2.7 (10.0)	0.7 (2.5)	0.0 (0.0)	4.0 (14.6)	0.1 (0.4)	1.9 (7.1)	0.0 (0.1)	0.2 (0.7)	11.3 (41.6)	27.2 (100.0)
経費	1.2 (7.2)	0.0 (0.1)	0.2 (1.0)	1.3 (7.4)	0.8 (4.8)	0.1 (0.4)	0.2 (1.0)	0.2 (1.4)	0.6 (3.4)	0.1 (0.8)	0.4 (2.5)	5.1 (29.8)	17.1 (100.0)
減価償却費	0.3 (7.2)	0.0 (0.0)	0.0 (1.2)	0.2 (6.2)	0.2 (5.1)	0.0 (0.1)	0.0 (1.0)	0.0 (1.3)	0.1 (3.6)	0.0 (1.0)	0.1 (2.6)	1.1 (29.3)	3.7 (100.0)
本部費	0.2 (6.2)	0.0 (0.1)	0.0 (1.1)	0.2 (6.1)	0.1 (4.7)	0.0 (0.4)	0.0 (1.5)	0.0 (1.5)	0.1 (2.8)	0.0 (0.8)	0.1 (2.5)	0.8 (27.5)	2.7 (100.0)
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
収支差額	0.4 (17.5)	-0.0 (-2.4)	-0.5 (-23.7)	-0.5 (-24.2)	-1.8 (-87.2)	-0.1 (-4.9)	-4.3 (-205.6)	-0.5 (-25.3)	-0.1 (-2.9)	-0.4 (-19.8)	-0.9 (-45.6)	-8.8 (-424.0)	2.1 (100.0)

1.6. F病院

1.6.1. 一次計上 :

医業収益についてみると、入院部門は施設全体の医業収益のうち6割強、外来部門が3%程度、中央診療部門において4割弱の内訳となっていた。

一方、医業費用が施設全体の医業収益に占める割合をみると、入院部門は5割弱、外来部門は4%程度で、中央診療部門が4割強、補助・管理部門は1割弱であった。

1.6.2. 二次配賦 :

二次配賦段階における収支差額について、施設全体の医業収益に占める割合を見ると、入院部門は1割強の黒字、外来部門においては1%の赤字、中央診療部門は1割弱の赤字であった。

1.6.3. 三次配賦 :

入院部門は、施設全体の医業収益の9割強、外来部門が1割弱を占めた。

一方、医業費用について施設全体の医業収益に占める割合をみると入院部門は9割強、外来部門が1割弱であった。これらの配賦の結果、収支差額について施設全体の医業収益に占める割合でみると、入院部門は5%程度の黒字、外来部門は2%の赤字であった。

図表 資料編-6 F病院の階梯式配賦による病院別原価計算結果

(上段：施設全体医業収益額を100とした場合の各項目の占める割合)

(下段：項目別部門合計を100とした場合の各部門の占める割合)

【一次計上】

	一次計上				合計
	入院部門	外来部門	中央診療部門	補助・管理部門	
医業収益	61.7 (61.7)	2.7 (2.7)	35.6 (35.6)	—	100.0 (100.0)
医業費用	44.5 (45.8)	3.4 (3.5)	42.8 (44.0)	8.4 (6.6)	97.2 (100.0)
給与費	20.7 (55.3)	2.1 (5.5)	11.3 (30.3)	3.3 (8.9)	37.4 (100.0)
材料費	11.3 (32.1)	0.5 (1.4)	23.3 (66.4)	—	35.1 (100.0)
経費	11.8 (52.2)	0.8 (3.6)	7.5 (33.3)	2.4 (10.9)	22.5 (100.0)
減価償却費	0.8 (49.7)	0.0 (2.7)	0.6 (37.8)	0.2 (9.8)	1.6 (100.0)
本部費	—	—	—	0.5 (100.0)	0.5 (100.0)
役員報酬	—	—	—	—	—
収支差額	17.2 (808.8)	-0.8 (-26.6)	-7.2 (-254.3)	-6.4 (-227.9)	2.8 (100.0)

【二次配賦】

	二次配賦			合計
	入院部門	外来部門	中央診療部門	
医業収益	61.7 (61.7)	2.7 (2.7)	35.6 (35.6)	100.0 (100.0)
医業費用	48.4 (49.8)	4.0 (4.1)	44.8 (46.1)	97.2 (100.0)
給与費	22.7 (60.6)	2.4 (6.3)	12.4 (33.1)	37.4 (100.0)
材料費	11.3 (32.1)	0.5 (1.4)	23.3 (66.4)	35.1 (100.0)
経費	13.2 (58.5)	1.0 (4.6)	8.3 (36.9)	22.5 (100.0)
減価償却費	0.9 (57.8)	0.1 (4.4)	0.6 (37.8)	1.6 (100.0)
本部費	0.3 (59.6)	0.0 (3.1)	0.2 (37.3)	0.5 (100.0)
役員報酬	—	—	—	—
収支差額	13.4 (473.1)	-1.3 (-48.2)	-9.2 (-326.9)	2.8 (100.0)

【三次配賦】

	三次配賦 入院部門											
	内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻いんご科	入院計
医業収益	35.2 (35.2)	19.1 (19.1)	0.2 (0.2)	17.1 (17.1)	8.8 (8.8)	5.4 (5.4)	0.5 (0.5)	1.9 (1.9)	4.3 (4.3)	0.3 (0.3)	1.5 (1.5)	94.5 (94.5)
医業費用	25.3 (26.1)	14.3 (14.7)	0.1 (0.1)	28.1 (28.9)	9.1 (9.3)	5.2 (5.4)	0.5 (0.5)	2.2 (2.3)	3.5 (3.6)	0.1 (0.1)	1.2 (1.3)	89.7 (92.3)
給与費	11.4 (30.5)	4.8 (12.8)	0.1 (0.1)	7.7 (20.5)	3.5 (9.3)	2.3 (6.2)	0.2 (0.5)	1.4 (3.7)	1.8 (4.7)	0.1 (0.1)	0.7 (1.8)	33.8 (90.4)
材料費	5.4 (15.3)	6.1 (17.3)	0.0 (0.1)	16.5 (46.9)	3.1 (8.9)	1.2 (3.4)	0.1 (0.3)	0.4 (1.1)	0.8 (2.2)	0.0 (0.1)	0.3 (0.8)	33.8 (96.3)
経費	7.8 (34.6)	3.1 (14.0)	0.0 (0.1)	2.6 (16.2)	2.2 (9.9)	1.6 (7.0)	0.2 (0.7)	0.4 (1.6)	0.9 (4.0)	0.0 (0.2)	0.2 (1.1)	20.2 (89.5)
減価償却費	0.6 (35.6)	0.2 (12.2)	0.0 (0.1)	0.3 (15.6)	0.2 (10.7)	0.1 (7.0)	0.0 (0.7)	0.0 (1.8)	0.1 (4.1)	0.0 (0.2)	0.0 (1.1)	1.4 (89.1)
本部費	0.2 (34.0)	0.1 (14.6)	0.0 (0.1)	0.1 (16.7)	0.0 (9.8)	0.0 (7.4)	0.0 (0.7)	0.0 (1.7)	0.0 (4.2)	0.0 (0.2)	0.0 (1.1)	0.4 (90.5)
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
収支差額	9.8 (348.4)	4.8 (169.1)	0.1 (3.8)	-11.0 (-388.1)	-0.2 (-7.3)	0.1 (4.5)	0.0 (1.5)	-0.3 (-8.9)	0.8 (28.9)	0.2 (6.9)	0.3 (10.8)	4.8 (169.7)

	外来部門				合計
	内科	小児科	外科	外来計	
医業収益	3.5 (3.5)	0.7 (0.7)	1.3 (1.3)	5.5 (5.5)	100.0 (100.0)
医業費用	3.9 (4.0)	0.8 (0.8)	2.8 (2.9)	7.5 (7.7)	97.2 (100.0)
給与費	1.7 (4.7)	0.3 (0.7)	1.6 (4.2)	3.6 (9.6)	37.4 (100.0)
材料費	0.8 (2.3)	0.1 (0.2)	0.4 (1.2)	1.3 (3.7)	35.1 (100.0)
経費	1.2 (5.4)	0.4 (1.9)	0.7 (3.3)	2.4 (10.5)	22.5 (100.0)
減価償却費	0.1 (5.5)	0.0 (2.4)	0.0 (3.0)	0.2 (10.9)	1.6 (100.0)
本部費	0.0 (4.8)	0.0 (1.6)	0.0 (3.2)	0.0 (9.5)	0.5 (100.0)
役員報酬	—	—	—	—	—
収支差額	-0.3 (-12.3)	-0.1 (-4.9)	-1.5 (-52.4)	-2.0 (-69.7)	2.8 (100.0)

1.7. G病院

1.7.1. 一次計上：

医業収益についてみると、入院部門は施設全体の医業収益のうち5割弱、外来部門が1割、中央診療部門において4割の内訳となっていた。

一方、医業費用が施設全体の医業収益に占める割合をみると、入院部門は5割弱、外来部門は2割、中央診療部門は2割強、補助・管理部門は1割弱であった。

1.7.2. 二次配賦：

二次配賦段階における収支差額について、施設全体の医業収益に占める割合を見ると、入院部門は3%の黒字、外来部門においては1割強の赤字、中央診療部門は1割強の黒字であった。

1.7.3. 三次配賦：

入院部門は、施設全体の医業収益の7割、外来部門が3割を占めた。

一方、医業費用について施設全体の医業収益に占める割合をみると入院部門は7割弱、外来部門が3割強であった。これらの配賦の結果、収支差額について施設全体の医業収益に占める割合でみると、入院部門は7%程度の黒字、外来部門は2%程度の赤字であった。

図表 資料編-7 G病院の階梯式配賦による病院別原価計算結果

(上段：施設全体医業収益額を100とした場合の各項目の占める割合)

(下段：項目別部門合計を100とした場合の各部門の占める割合)

【一次計上】

	一次計上				合計
	入院部門	外来部門	中央診療部門	補助・管理部門	
医業収益	49.4 (49.4)	10.7 (10.7)	39.9 (39.9)	—	100.0 (100.0)
医業費用	43.4 (45.7)	19.7 (20.8)	24.5 (25.8)	7.3 (7.7)	94.9 (100.0)
給与費	24.0 (52.5)	9.9 (21.8)	9.2 (20.1)	2.6 (5.6)	45.7 (100.0)
材料費	8.7 (42.6)	4.4 (21.3)	7.4 (36.1)	—	20.4 (100.0)
経費	7.6 (34.3)	4.5 (20.3)	6.3 (28.2)	3.8 (17.2)	22.2 (100.0)
減価償却費	3.1 (52.3)	0.9 (15.3)	1.7 (29.0)	0.2 (3.4)	5.9 (100.0)
本部費	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	0.7 (100.0)	0.7 (100.0)
収支差額	6.0 (118.8)	-9.0 (-177.4)	15.4 (303.1)	-7.3 (-144.6)	5.1 (100.0)

【二次配賦】

	二次配賦			合計
	入院部門	外来部門	中央診療部門	
医業収益	49.4 (49.4)	10.7 (10.7)	39.9 (39.9)	100.0 (100.0)
医業費用	46.3 (48.8)	22.8 (24.0)	25.8 (27.2)	94.9 (100.0)
給与費	24.9 (54.6)	11.0 (24.2)	9.7 (21.2)	45.7 (100.0)
材料費	8.7 (42.6)	4.4 (21.3)	7.4 (36.1)	20.4 (100.0)
経費	9.2 (41.4)	6.1 (27.6)	6.9 (31.1)	22.2 (100.0)
減価償却費	3.1 (53.6)	1.0 (17.4)	1.7 (29.0)	5.9 (100.0)
本部費	—	—	—	—
役員報酬	0.4 (49.8)	0.2 (29.1)	0.2 (21.2)	0.7 (100.0)
収支差額	3.1 (60.7)	-12.1 (-237.6)	14.1 (276.9)	5.1 (100.0)

【三次配賦】

	三次配賦											入院計
	入院部門											
	内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう科	放射線科	入院計	
医業収益	28.7 (28.7)	1.6 (1.6)	14.8 (14.8)	10.4 (10.4)	0.5 (0.5)	3.5 (3.5)	3.9 (3.9)	1.7 (1.7)	3.6 (3.6)	1.0 (1.0)	69.8 (69.8)	
医業費用	23.9 (25.2)	3.1 (3.2)	12.3 (13.0)	10.2 (10.7)	0.4 (0.5)	2.7 (2.8)	5.1 (5.4)	1.2 (1.3)	2.9 (3.1)	0.6 (0.6)	62.5 (65.8)	
給与費	12.1 (26.4)	1.4 (3.1)	6.6 (14.3)	4.6 (10.1)	0.2 (0.4)	1.6 (3.5)	3.1 (6.8)	0.7 (1.5)	1.7 (3.6)	0.3 (0.7)	32.3 (70.6)	
材料費	4.6 (22.3)	0.3 (1.4)	2.5 (12.1)	3.1 (15.0)	0.1 (0.7)	0.4 (1.8)	0.4 (1.8)	0.2 (0.7)	0.5 (2.3)	0.1 (0.3)	11.9 (58.4)	
経費	5.6 (25.3)	1.0 (4.3)	2.6 (11.5)	1.9 (8.6)	0.1 (0.4)	0.6 (2.6)	1.3 (5.8)	0.3 (1.3)	0.6 (2.7)	0.2 (0.7)	14.1 (63.3)	
減価償却費	1.5 (25.0)	0.4 (6.0)	0.7 (11.6)	0.6 (9.5)	0.0 (0.4)	0.2 (2.6)	0.3 (4.9)	0.1 (1.2)	0.2 (2.8)	0.0 (0.7)	3.8 (64.8)	
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
役員報酬	0.2 (23.2)	0.0 (4.0)	0.1 (10.6)	0.1 (7.0)	0.0 (0.3)	0.0 (2.3)	0.0 (6.5)	0.0 (1.1)	0.0 (2.3)	0.0 (0.6)	0.4 (57.9)	
収支差額	4.8 (94.7)	-1.4 (-27.9)	2.5 (48.4)	0.2 (3.3)	0.1 (1.8)	0.8 (16.1)	-1.2 (-24.2)	0.5 (10.6)	0.7 (13.0)	0.4 (8.3)	7.3 (144.2)	

	三次配賦													合計
	外来部門													
	内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう科	放射線科	麻酔科	リハビリテーション科	外来計	
医業収益	16.5 (16.5)	1.1 (1.1)	3.3 (3.3)	2.0 (2.0)	0.7 (0.7)	2.6 (2.6)	0.9 (0.9)	1.0 (1.0)	1.1 (1.1)	0.6 (0.6)	—	0.3 (0.3)	30.2 (30.2)	
医業費用	12.1 (12.7)	1.6 (1.6)	4.0 (4.2)	3.1 (3.3)	1.4 (1.5)	2.6 (2.7)	1.7 (1.8)	1.9 (2.0)	1.8 (1.9)	1.5 (1.6)	0.1 (0.1)	0.7 (0.8)	32.5 (34.2)	
給与費	4.3 (9.3)	0.8 (1.6)	1.5 (3.2)	1.6 (3.6)	0.8 (1.7)	0.8 (1.9)	0.8 (1.8)	1.1 (2.4)	1.0 (2.1)	0.5 (1.0)	0.1 (0.1)	0.3 (0.6)	13.4 (29.4)	
材料費	4.5 (21.8)	0.1 (0.5)	1.6 (7.6)	0.5 (2.3)	0.1 (0.5)	1.2 (5.7)	0.1 (0.7)	0.1 (0.3)	0.2 (1.1)	0.2 (1.0)	—	—	8.5 (41.6)	
経費	2.7 (12.1)	0.5 (2.5)	0.7 (3.4)	0.8 (3.6)	0.4 (1.9)	0.5 (2.0)	0.5 (2.4)	0.6 (2.7)	0.5 (2.1)	0.6 (2.5)	0.1 (0.3)	0.3 (1.3)	8.2 (36.7)	
減価償却費	0.6 (9.5)	0.1 (2.2)	0.2 (2.8)	0.2 (3.0)	0.1 (2.0)	0.1 (2.0)	0.1 (2.4)	0.1 (2.3)	0.1 (1.9)	0.3 (5.0)	—	0.1 (2.2)	2.1 (35.2)	
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
役員報酬	0.1 (14.6)	0.0 (3.0)	0.0 (4.5)	0.0 (4.2)	0.0 (1.9)	0.0 (2.2)	0.0 (2.5)	0.0 (3.2)	0.0 (2.5)	0.0 (1.9)	0.0 (0.6)	0.0 (1.1)	0.3 (42.1)	
収支差額	4.5 (88.0)	-0.4 (-8.6)	-0.7 (-13.0)	-1.1 (-21.0)	-0.7 (-14.3)	-0.0 (0.0)	-0.8 (-15.3)	-0.9 (-17.3)	-0.7 (-13.7)	-0.9 (-18.7)	-0.1 (-2.7)	-0.4 (-7.6)	-2.2 (-44.2)	

1.8. H病院

1.8.1. 一次計上：

医業収益についてみると、入院部門は施設全体の医業収益のうち5割弱、外来部門が1割、中央診療部門において4割強の内訳となっていた。

一方、医業費用が施設全体の医業収益に占める割合をみると、入院部門は5割弱、外来部門は1割、中央診療部門は3割弱、補助・管理部門は1割弱であった。

1.8.2. 二次配賦：

二次配賦段階における収支差額について、施設全体の医業収益に占める割合を見ると、入院部門は2%の赤字、外来部門においては1割弱の赤字、中央診療部門は1割強の黒字であった。

1.8.3. 三次配賦：

入院部門は、施設全体の医業収益の7割、外来部門が3割を占めた。

一方、医業費用について施設全体の医業収益に占める割合をみると入院部門は7割強、外来部門が3割弱であった。これらの配賦の結果、収支差額について施設全体の医業収益に占める割合でみると、入院部門はほぼゼロ、外来部門は3%程度の黒字であった。

図表 資料編-8 H病院の階梯式配賦による病院別原価計算結果

(上段：施設全体医業収益額を100とした場合の各項目の占める割合)

(下段：項目別部門合計を100とした場合の各部門の占める割合)

【一次計上】

	入院部門	外来部門	中央診療部門	補助・管理部門	合計
医業収益	46.8 (46.8)	10.8 (10.8)	42.4 (42.4)	—	100.0 (100.0)
医業費用	45.1 (46.2)	14.5 (14.9)	28.0 (28.7)	10.0 (10.2)	97.7 (100.0)
給与費	26.4 (53.7)	9.2 (18.7)	7.7 (15.6)	5.9 (12.0)	49.2 (100.0)
材料費	11.8 (42.8)	2.3 (8.5)	13.4 (48.7)	—	27.6 (100.0)
経費	6.0 (34.4)	2.3 (13.5)	5.7 (32.6)	3.4 (19.4)	17.4 (100.0)
減価償却費	0.9 (26.7)	0.6 (17.5)	1.2 (35.8)	0.7 (20.0)	3.5 (100.0)
本部費	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—
収支差額	1.6 (70.3)	-3.7 (-157.9)	14.4 (613.6)	-10.0 (-426.0)	2.3 (100.0)

【二次配賦】

	入院部門	外来部門	中央診療部門	合計
医業収益	46.8 (46.8)	10.8 (10.8)	42.4 (42.4)	100.0 (100.0)
医業費用	48.8 (50.0)	19.7 (20.1)	29.2 (29.9)	97.7 (100.0)
給与費	28.5 (58.0)	12.4 (25.2)	8.2 (16.8)	49.2 (100.0)
材料費	11.8 (42.8)	2.3 (8.5)	13.4 (48.7)	27.6 (100.0)
経費	7.3 (42.1)	3.8 (21.9)	6.3 (36.0)	17.4 (100.0)
減価償却費	1.1 (32.7)	1.1 (31.5)	1.2 (35.8)	3.5 (100.0)
本部費	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—
収支差額	-2.0 (-87.1)	-8.8 (-377.9)	13.2 (565.1)	2.3 (100.0)

【三次配賦】

	三次配賦 入院部門															
	内科	神経内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器科	心臓血管科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科
医業収益	8.9 (8.9)	6.1 (6.1)	2.1 (2.1)	5.4 (5.4)	7.9 (7.9)	1.8 (1.8)	6.5 (6.5)	5.2 (5.2)	2.4 (2.4)	7.4 (7.4)	2.1 (2.1)	1.5 (1.5)	0.8 (0.8)	4.4 (4.4)	2.3 (2.3)	1.2 (1.2)
医業費用	6.2 (6.4)	5.3 (5.4)	1.7 (1.7)	5.8 (6.0)	11.7 (12.0)	1.2 (1.2)	5.7 (5.8)	6.7 (6.8)	2.9 (2.9)	7.0 (7.2)	1.8 (1.8)	2.8 (2.8)	0.4 (0.4)	4.0 (4.1)	2.3 (2.4)	1.0 (1.0)
給与費	3.4 (7.0)	2.6 (5.2)	1.0 (2.1)	3.3 (6.8)	3.5 (7.1)	0.8 (1.6)	2.5 (5.1)	3.1 (6.2)	1.7 (3.5)	3.5 (7.1)	0.9 (1.8)	1.4 (2.8)	0.2 (0.5)	2.4 (4.9)	1.2 (2.4)	0.6 (1.2)
材料費	1.4 (5.1)	1.8 (6.7)	0.3 (1.1)	1.3 (4.7)	7.2 (26.1)	0.1 (0.5)	2.4 (8.7)	2.8 (10.2)	0.5 (2.0)	2.4 (8.7)	0.6 (2.3)	1.1 (3.9)	0.1 (0.3)	0.9 (3.1)	0.7 (2.5)	0.2 (0.8)
経費	1.2 (7.1)	0.8 (4.4)	0.3 (1.7)	1.0 (6.0)	0.9 (5.2)	0.3 (1.4)	0.6 (3.7)	0.7 (4.0)	0.5 (3.0)	1.0 (5.6)	0.3 (1.5)	0.3 (1.7)	0.1 (0.4)	0.6 (3.6)	0.4 (2.5)	0.2 (1.0)
減価償却費	0.2 (4.7)	0.1 (3.4)	0.0 (1.2)	0.2 (4.5)	0.1 (3.6)	0.0 (1.0)	0.1 (2.8)	0.1 (3.7)	0.1 (2.3)	0.1 (4.2)	0.0 (1.3)	0.0 (1.0)	0.0 (0.3)	0.1 (2.9)	0.0 (1.4)	0.0 (0.8)
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
収支差額	2.7 (113.2)	0.8 (34.7)	0.4 (17.6)	-0.4 (-19.2)	-3.8 (-163.4)	0.6 (24.8)	0.8 (34.0)	-1.5 (-64.4)	-0.5 (-19.8)	0.3 (14.9)	0.3 (11.6)	-1.3 (-55.5)	0.4 (15.0)	0.4 (18.2)	-0.0 (-0.1)	0.2 (7.9)

	三次配賦 入院部門		
	内科	神経内科	入院計
医業収益	1.2 (1.2)	3.3 (3.3)	70.3 (70.3)
医業費用	0.8 (0.8)	3.2 (3.3)	70.5 (72.2)
給与費	0.5 (1.0)	2.1 (4.3)	34.7 (70.5)
材料費	0.2 (0.6)	0.4 (1.4)	24.4 (88.6)
経費	0.1 (0.7)	0.6 (3.4)	9.9 (56.7)
減価償却費	0.0 (0.6)	0.1 (3.7)	1.5 (43.4)
本部費	—	—	—
役員報酬	—	—	—
収支差額	0.4 (17.5)	0.1 (3.3)	-0.2 (-9.6)

	三次配賦 外来部門							
	内科	神経内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	外科	整形外科
医業収益	5.5 (5.5)	3.7 (3.7)	2.1 (2.1)	1.6 (1.6)	2.5 (2.5)	3.0 (3.0)	1.5 (1.5)	1.4 (1.4)
医業費用	3.4 (3.5)	2.5 (2.6)	0.4 (0.4)	1.9 (2.0)	1.6 (1.6)	1.9 (1.9)	2.0 (2.1)	2.2 (2.2)
給与費	1.9 (3.9)	0.7 (1.4)	0.2 (0.4)	0.9 (1.9)	0.9 (1.8)	1.2 (2.4)	1.2 (2.5)	1.2 (2.4)
材料費	0.3 (1.1)	1.3 (4.9)	0.0 (0.0)	0.3 (1.1)	0.2 (0.2)	0.1 (0.2)	0.3 (1.0)	0.2 (0.8)
経費	1.0 (5.9)	0.4 (2.1)	0.1 (0.7)	0.5 (3.1)	0.5 (3.1)	0.5 (2.9)	0.4 (2.2)	0.6 (3.4)
減価償却費	0.2 (6.2)	0.1 (2.9)	0.0 (1.0)	0.1 (3.8)	0.1 (3.5)	0.1 (3.6)	0.1 (2.7)	0.2 (5.8)
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—
収支差額	2.1 (89.7)	1.1 (49.0)	1.8 (76.3)	-0.3 (-12.8)	0.9 (38.1)	1.1 (48.7)	-0.5 (-20.3)	-0.8 (-32.1)

	三次配賦											合計
	外来部門											
	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	腫血管外	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	鼻いんこう	放射線科	外来計	
医業収益	0.4 (0.4)	0.6 (0.6)	0.2 (0.2)	0.1 (0.1)	0.8 (0.8)	2.5 (2.5)	0.8 (0.8)	1.5 (1.5)	1.4 (1.4)	0.1 (0.1)	29.7 (29.7)	100.0 (100.0)
医業費用	0.6 (0.6)	1.2 (1.2)	0.2 (0.2)	0.4 (0.4)	0.8 (0.8)	3.4 (3.5)	1.3 (1.3)	1.0 (1.0)	1.2 (1.2)	1.3 (1.4)	27.1 (27.8)	97.7 (100.0)
給与費	0.4 (0.9)	0.7 (1.4)	0.1 (0.2)	0.3 (0.5)	0.4 (0.9)	1.7 (3.4)	0.8 (1.6)	0.5 (1.0)	0.6 (1.3)	0.8 (1.6)	14.5 (29.5)	49.2 (100.0)
材料費	0.0 (0.0)	0.1 (0.3)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.1)	0.3 (1.1)	0.1 (0.3)	0.0 (0.1)	0.1 (0.3)	0.0 (0.0)	3.2 (11.4)	27.6 (100.0)
経費	0.1 (0.7)	0.3 (1.7)	0.0 (0.3)	0.1 (0.5)	0.3 (1.6)	1.1 (6.1)	0.3 (1.9)	0.4 (2.1)	0.4 (2.2)	0.4 (2.6)	7.5 (43.3)	17.4 (100.0)
減価償却費	0.0 (0.7)	0.1 (2.4)	0.0 (0.4)	0.0 (0.4)	0.1 (2.7)	0.3 (9.9)	0.1 (2.2)	0.1 (2.8)	0.1 (2.8)	0.1 (2.9)	2.0 (56.6)	3.5 (100.0)
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
収支差額	-0.2 (-10.2)	-0.5 (-22.9)	0.1 (2.5)	-0.2 (-9.3)	-0.1 (-2.8)	-0.9 (-37.0)	-0.5 (-21.1)	0.5 (21.4)	0.2 (8.2)	-1.3 (-53.9)	2.6 (109.6)	2.3 (100.0)

1.9. I病院

1.9.1. 一次計上：

医業収益についてみると、入院部門は施設全体の医業収益のうち4割弱、外来部門が2割弱、中央診療部門において5割弱の内訳となっていた。

一方、医業費用が施設全体の医業収益に占める割合をみると、入院部門は2割強、外来部門が1割程度、中央診療部門が4割、補助・管理部門は3割強であった。

図表 資料編-9 I病院の階梯式配賦による病院別原価計算結果

(上段：施設全体医業収益額を100とした場合の各項目の占める割合)

(下段：項目別部門合計を100とした場合の各部門の占める割合)

【一次計上】	一次計上				
	入院部門	外来部門	中央診療部門	補助・管理部門	合計
医業収益	37.1 (37.1)	16.2 (16.2)	46.6 (46.6)	— —	100.0 (100.0)
医業費用	24.2 (22.5)	9.4 (8.8)	39.2 (36.5)	34.6 (32.2)	107.5 (100.0)
給与費	20.3 (41.8)	7.6 (15.7)	12.0 (24.8)	8.6 (17.7)	48.5 (100.0)
材料費	1.2 (5.7)	0.5 (2.6)	18.6 (87.5)	0.9 (4.3)	21.3 (100.0)
経費	2.7 (9.1)	1.2 (3.9)	8.3 (27.9)	17.5 (59.1)	29.6 (100.0)
減価償却費	0.0 (0.6)	0.1 (1.3)	0.3 (3.7)	7.7 (94.4)	8.1 (100.0)
本部費	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—
収支差額	12.9 (-173.5)	6.8 (-91.2)	7.5 (-100.0)	-34.6 (464.7)	-7.5 (100.0)

1.10. J病院

1.10.1. 一次計上：

医業収益についてみると、入院部門は施設全体の医業収益のうち5割、外来部門が1割弱、中央診療部門において4割強の内訳となっていた。

一方、医業費用が施設全体の医業収益に占める割合をみると、入院部門は4割強、外来部門が1割強、中央診療部門が4割弱、補助・管理部門は1割弱であった。

1.10.2. 二次配賦：

二次配賦段階における収支差額について、施設全体の医業収益に占める割合を見ると、入院部門は6%程度の黒字、外来部門においては1割弱の赤字、中央診療部門は6%程度の黒字であった。

1.10.3. 三次配賦：

入院部門は、施設全体の医業収益の8割弱、外来部門が2割強を占めた。

一方、医業費用について施設全体の医業収益に占める割合をみると入院部門は7割強、外来部門が3割弱であった。これらの配賦の結果、収支差額について施設全体の医業収益に占める割合でみると、入院部門は5%程度の黒字、外来部門は0.2%の赤字であった。

図表 資料編-10 J病院の階梯式配賦による病院別原価計算結果

(上段：施設全体医業収益額を100とした場合の各項目の占める割合)

(下段：項目別部門合計を100とした場合の各部門の占める割合)

【一次計上】

	一次計上				合計
	入院部門	外来部門	中央診療部門	補助・管理部門	
医業収益	50.7 (50.7)	7.3 (7.3)	41.9 (41.9)	—	100.0 (100.0)
医業費用	41.9 (43.6)	12.6 (13.1)	35.0 (36.5)	6.2 (6.5)	95.7 (100.0)
給与費	23.1 (51.7)	6.8 (15.3)	11.0 (24.6)	3.8 (8.5)	44.6 (100.0)
材料費	9.4 (30.7)	3.1 (10.0)	18.2 (59.3)	—	30.7 (100.0)
経費	5.4 (43.2)	2.2 (17.7)	2.6 (20.7)	2.3 (18.4)	12.5 (100.0)
減価償却費	4.0 (50.9)	0.5 (6.3)	3.2 (40.6)	0.2 (2.2)	7.9 (100.0)
本部費	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—
収支差額	8.8 (206.5)	-5.3 (-122.7)	6.9 (162.2)	-6.2 (-146.0)	4.3 (100.0)

【二次配賦】

	二次配賦			合計
	入院部門	外来部門	中央診療部門	
医業収益	50.7 (50.7)	7.3 (7.3)	41.9 (41.9)	100.0 (100.0)
医業費用	45.1 (47.1)	14.5 (15.2)	36.1 (37.7)	95.7 (100.0)
給与費	25.0 (55.9)	8.0 (17.9)	11.7 (26.2)	44.6 (100.0)
材料費	9.4 (30.7)	3.1 (10.0)	18.2 (59.3)	30.7 (100.0)
経費	6.6 (52.8)	2.9 (23.2)	3.0 (24.0)	12.5 (100.0)
減価償却費	4.1 (51.9)	0.6 (7.5)	3.2 (40.6)	7.9 (100.0)
本部費	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—
収支差額	5.7 (132.9)	-7.2 (-168.2)	5.8 (135.3)	4.3 (100.0)

【三次配賦】

	三次配賦 入院部門															
	内科	神経内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	100種血液外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科
医業収益	7.4 (7.4)	2.9 (2.9)	5.8 (5.8)	21.1 (21.1)	4.2 (4.2)	2.1 (2.1)	1.1 (1.1)	7.3 (7.3)	1.8 (1.8)	5.8 (5.8)	2.6 (2.6)	1.1 (1.1)	0.4 (0.4)	2.5 (2.5)	3.1 (3.1)	0.3 (0.3)
医業費用	5.4 (5.6)	2.3 (2.4)	4.1 (4.3)	16.4 (17.1)	3.5 (3.6)	3.1 (3.3)	1.0 (1.0)	11.1 (11.5)	1.6 (1.6)	7.0 (7.3)	2.0 (2.1)	1.8 (1.9)	0.3 (0.3)	1.8 (1.9)	2.9 (3.0)	0.2 (0.2)
給与費	2.5 (5.9)	1.3 (2.8)	2.2 (4.9)	7.6 (17.1)	1.5 (3.4)	1.6 (3.7)	0.8 (1.2)	3.3 (7.3)	0.9 (2.1)	3.3 (7.3)	0.9 (1.9)	0.5 (1.2)	0.2 (0.4)	1.0 (2.3)	1.5 (3.5)	0.1 (0.3)
材料費	1.6 (5.3)	0.6 (1.8)	0.9 (2.9)	5.4 (17.5)	1.3 (4.2)	0.7 (2.2)	0.3 (0.9)	6.5 (21.3)	0.3 (0.8)	2.5 (8.1)	0.8 (2.5)	1.1 (3.7)	0.0 (0.1)	0.4 (1.2)	0.7 (2.3)	0.0 (0.1)
経費	0.8 (6.0)	0.3 (2.5)	0.6 (4.8)	2.0 (16.3)	0.4 (3.0)	0.5 (3.8)	0.1 (0.6)	0.7 (5.7)	0.2 (1.7)	0.7 (6.0)	0.2 (1.8)	0.1 (0.8)	0.0 (0.4)	0.3 (2.0)	0.4 (3.3)	0.0 (0.2)
減価償却費	0.5 (6.4)	0.2 (2.7)	0.4 (5.5)	1.3 (17.2)	0.3 (3.3)	0.3 (4.3)	0.1 (0.7)	0.5 (6.8)	0.2 (1.9)	0.5 (6.0)	0.1 (1.8)	0.1 (0.8)	0.0 (0.4)	0.2 (2.3)	0.3 (3.3)	0.0 (0.2)
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
収支差額	2.0 (47.8)	0.5 (12.3)	1.7 (38.6)	4.7 (109.6)	0.8 (18.2)	-1.0 (-23.1)	0.1 (2.8)	-3.7 (-87.0)	0.2 (4.6)	-1.1 (-26.8)	0.6 (13.2)	-0.7 (-16.7)	0.1 (2.8)	0.6 (14.8)	0.1 (3.4)	0.1 (3.3)

	三次配賦 外来部門			
	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	入院計
医業収益	4.5 (4.5)	0.6 (0.6)	0.9 (0.9)	75.5 (75.5)
医業費用	3.3 (3.4)	0.4 (0.4)	2.9 (3.0)	71.0 (74.2)
給与費	1.6 (3.7)	0.2 (0.5)	1.7 (3.9)	32.6 (73.0)
材料費	0.9 (2.8)	0.1 (0.3)	0.7 (2.2)	24.7 (80.3)
経費	0.4 (3.5)	0.1 (0.5)	0.3 (2.4)	8.2 (65.4)
減価償却費	0.3 (4.1)	0.0 (0.6)	0.2 (2.1)	5.5 (70.5)
本部費	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—
収支差額	1.2 (29.1)	0.2 (4.0)	-2.0 (-46.0)	4.5 (104.9)

	三次配賦 外来部門								
	内科	精神科	神経内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	外科	整形外科
医業収益	2.9 (2.9)	0.4 (0.4)	0.6 (0.6)	2.7 (2.7)	4.4 (4.4)	0.9 (0.9)	0.8 (0.8)	2.2 (2.2)	0.7 (0.7)
医業費用	2.4 (2.5)	0.3 (0.3)	0.7 (0.7)	1.3 (1.4)	4.1 (4.3)	0.7 (0.7)	0.8 (0.9)	2.1 (2.2)	1.1 (1.2)
給与費	1.2 (2.7)	0.1 (0.3)	0.4 (0.9)	0.7 (1.5)	1.8 (4.1)	0.3 (0.8)	0.5 (1.2)	0.7 (1.7)	0.5 (1.2)
材料費	0.5 (1.8)	0.0 (0.0)	0.1 (0.3)	0.3 (1.1)	1.2 (4.0)	0.1 (0.3)	0.0 (0.1)	1.0 (3.2)	0.3 (0.3)
経費	0.4 (3.5)	0.1 (0.8)	0.1 (0.9)	0.2 (1.8)	0.7 (5.8)	0.1 (1.0)	0.2 (1.5)	0.2 (1.8)	0.3 (2.5)
減価償却費	0.2 (2.8)	0.1 (0.9)	0.1 (0.8)	0.1 (1.3)	0.3 (4.5)	0.1 (1.0)	0.1 (1.2)	0.1 (1.7)	0.2 (2.0)
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—	—
収支差額	0.4 (10.2)	0.1 (1.9)	-0.1 (-2.1)	1.4 (33.1)	0.3 (6.3)	0.2 (4.8)	-0.1 (-1.3)	0.2 (3.8)	-0.4 (-10.1)

	三次配賦														合計
	外来部門														
	形成外科	美容外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう科	放射線科	麻酔科	リハビリテーション科	外来計	
医業収益	0.6 (0.6)	—	0.6 (0.6)	0.1 (0.1)	0.1 (0.1)	0.3 (0.3)	2.7 (2.7)	0.6 (0.6)	0.5 (0.5)	0.7 (0.7)	2.8 (2.8)	0.1 (0.1)	0.1 (0.1)	24.5 (24.5)	100.0 (100.0)
医業費用	1.4 (1.5)	0.1 (0.1)	0.6 (0.7)	0.2 (0.2)	0.2 (0.2)	0.5 (0.6)	2.2 (2.3)	0.9 (0.9)	0.8 (0.8)	0.7 (0.8)	2.9 (3.0)	0.1 (0.1)	0.6 (0.6)	24.7 (25.8)	95.7 (100.0)
給与費	1.0 (2.2)	0.0 (0.0)	0.4 (0.9)	0.1 (0.2)	0.1 (0.3)	0.4 (0.8)	0.8 (1.7)	0.4 (0.9)	0.5 (1.0)	0.4 (1.0)	1.2 (2.6)	0.0 (0.1)	0.4 (0.9)	12.0 (27.0)	44.6 (100.0)
材料費	0.1 (0.3)	—	0.1 (0.3)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.8 (2.7)	0.1 (0.4)	0.0 (0.0)	0.1 (0.2)	1.4 (4.5)	0.0 (0.0)	—	6.0 (19.7)	30.7 (100.0)
経費	0.2 (1.7)	0.0 (0.3)	0.1 (0.7)	0.1 (0.6)	0.0 (0.3)	0.1 (0.8)	0.4 (2.9)	0.2 (1.9)	0.2 (1.5)	0.2 (1.3)	0.2 (1.7)	0.1 (0.4)	0.1 (0.9)	4.3 (34.6)	12.5 (100.0)
減価償却	0.1 (1.4)	0.0 (0.1)	0.1 (0.8)	0.0 (0.3)	0.0 (0.4)	0.1 (0.8)	0.2 (2.9)	0.1 (1.9)	0.1 (1.5)	0.1 (1.1)	0.1 (1.5)	0.0 (0.2)	0.1 (0.7)	2.3 (29.5)	7.9 (100.0)
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
収支差額	-0.8 (-19.3)	-0.1 (-1.5)	-0.1 (-1.9)	-0.1 (-2.1)	-0.1 (-3.1)	-0.2 (-5.7)	0.5 (12.5)	-0.3 (-7.5)	-0.2 (-5.6)	-0.1 (-1.9)	-0.1 (-2.5)	-0.1 (-1.5)	-0.5 (-11.4)	-0.2 (-4.9)	4.3 (100.0)